

ジュニアSP
男子

堀野（八戸FSC）8位

尾形（八戸FSC）11位、田名部（光星高）22位

フィギュア

東日本選手権

フィギュアスケートの東日本選手権、東日本ジュニア選手権第2日は26日、テクノルアイスパーク八戸で各種目が行われた。ジュニア男子ショートプログラム（SP）は、堀野伊織が8位、尾形広由（以上八戸FSC）が

11位、田名部飛至也（八戸FSC）が22位に入り、上位24人によるフリーに進出した。同日はこのほか、男子フリーと、アイスダンスの全日本選手権、全日本ジュニア選手権の各予選会が行われた。

最終日の27日は同会場で、ジュニア男女と女子の各フリーを実施。青森県勢は3人のほか、ジュニア女子に工藤緒心（八戸一中）、女子に聖前埜乃華（工大一高一東北福祉大）が登場する。最初のジュニア男子は午前9時45分に競技開始予定。

24点⑧堀野伊織（八戸FSC）58点
⑨尾形広由（同）55・53点
⑩田名部飛至也（八学光星高）45点
⑪男子 ①大島光翔（明大）210・69点（SP）68・47点、フリー114.2・22点
②ジュニアアイスダンス ①岸本彩良・田村篤彦（中京大中高）144.4・37点（リズムダンス）58・21点、フリー186・16点
③アイスダンス ①吉田唯菜・森田真沙也（木下アカデミー）174・47点（リズムダンス）70・77点、フリー110.3・70点



【ジュニア男子ショートプログラム】初出場で45.55点の22位に入り、フリーに進んだ田名部飛至也

初出場でもベスト更新 田名部

○ジュニア男子で初5点更新。22位でフリー出場の田名部飛至也（八戸FSC）の出場権を獲得し、「学光星高」は、会心の滑り、緊張しなかったし、シーズンベストを約束し、滑り切れた」と口

ぶりも滑らかった。「高校に入ってから練習量を増やした」と田名部。序盤に難所のトリプルサルコウ、ダブルトーループのコンビを決めると、最後まで自信に満ちた演技を披露した。技を磨く八戸FSCでは、春に二つ年上の尾形広由が仲間に加わり、「皆が頑張っていて刺激になるし、応援してくれるのも力になる」。一つ下の堀野伊織らと切磋琢磨できる環境に充実感をにじませる。

フリーは大好きな曲「シーユーアゲイン」で臨む。「ミスができるだけ抑えて最後のステップまでつなぎ、気持ちよく終わりたい」と語った。